



食品の放射性物質



「食べものの放射性物質」検査について **コープは独自検査を続けています!**

コープきんき 品質保証部

コープきんき

商品

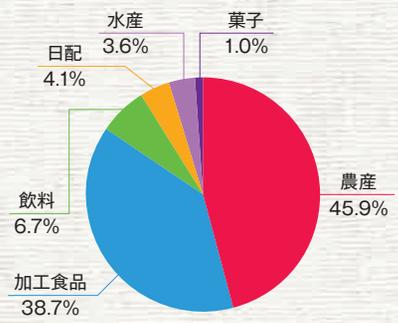
コープの商品検査センターでは商品の放射性物質検査を2012年から行っています。
(2011年は外部機関で検査)

コープきんきが取り引きしている産直の農産物や、東日本で製造された食品について、国の放射性物質基準値を上回るかの確認検査を続けています。



2018年の検査件数

212件



検査を始めてから今まで、基準値を超えるものはありません。

日本生協連

食材全般

おうちご飯を検査

全国エリアの取り組みとしては、2011年から、家庭での「ふだんの食事」に含まれる放射性物質の量についての検査を8年間続けています。



検査の流れ <2018年度は232軒の生協組合員さん※にご協力いただきました>



ふだん通りの食事をもう一食多く用意してもらい、冷凍して商品検査センターへ送ります。



約14時間かけて検査、測定します。



測定データから、物質の種類と濃度を調べます。

放射性セシウムは5年連続で検出されませんでした。

2019年度も調査を続けており、結果は2020年3月に報告予定です。

<※調査期間:2018年5月21日~2019年1月24日/232サンプル/東北・関東を中心に18都県>

